

▽池添修一教育長

メリットは学級担任制から教科担任制への滑らかな移行、6年生からの定期テストの実施、部活動への参加など、小学校ではできなかったことができるようになり学力の向上に繋がるということ。

デメリットは詳細に調査をして出ないよう対応策を執るが、小中

の教員免許を持つている教職員の確保が課題である。

▽小川智也議員

ヨボウシ橋は交通量が増え渋滞等の問題が懸念される。道路幅も狭く山手には側溝もあり危険である。様々な問題を解決できるよう対応を望む。



大豊町中学校への町道

Q A 13

問 町内の行政運営は町内の工事の説明をしているか



佐々木文三議員

町内での工事の際に区長や地区の地権者などに説明がなく、どういう工事をしているのか分からない。また県の工事も同様である。どの程度把握しているのか。

▽岩崎憲郎町長

町、県、国と工事の実施主体によつて説明しているが、地域の方全員という状況ではない場合がある。指摘さ

状況によつて幅員を確保できるよう対応する。

佐々木文三議員

れた事例があれば、早急に対応する。

▽佐々木文三議員

情報通信基盤整備工事について、ある地区で区長や関係者に相談もなく電柱を建て、後で建て替えた事例がある。業者に全て任せて工事しているのか。

▽岩崎憲郎町長

町の発注工事なので責任は町にある。地権者の方の理解のもと実施していくことが基本であり、請負業者に指導する。

Q A 14

問 町内7駅のJ Rトイレの今後は使用禁止を解消できないか



小笠原妙子議員

本町の玄関口となっている7駅のトイレの内、現在5箇所が使用禁止になっている。このトイレは駅を利用する方だけでなく、地域の人も利用している。改善策はないのか。

▽岩崎憲郎町長

県を通じてJ Rにも要望したが、「利用者には列車のトイレを利用してほしい」管理ができないとの回答であった。町の施設ではなく現時点では困難。

▽小笠原妙子議員

今後の解決策を検討してもらうよう要望する。



豊永駅のトイレ

Q A 15

問 S D G sの取り組みをどう考えるか
消滅しかけた地域が元気になっている

答 日々実践している

▽小笠原妙子議員

早明浦湖水祭りシンポジウムで北海道下川町の「持続可能な開発目標（S D G s）」の基調講演を聴いたが、本町と同規模の自治体のようだが町長の感想は。

▽岩崎憲郎町長

以前から取り組みは承知していたが、目標のひとつに持続型の林業で環境を守るという本町と共通する部分を位置づけている。環境と共にあって環境をその次の世代に繋げていく取り組みを中心に、地域の人たちの営みを伝えていく取組みがS D G sの根本にあると考えた。

▽小笠原妙子議員

未来、世代へ引き継げる町づくりを住民参加で進めていくことを要望する。

※S D G sとは、エス・ディー・ジーズと読み2015年9月の国連サミットで採択されたもので、2030年までに達成する17の持続可能な開発目標で国際社会共通の目標です。



平成30年度各種会計歳入歳出決算認定（認定・全員）

平成30年度の一般会計、特別会計歳入歳出決算書、付属書類等及び基金の運用状況を示す書類等が、法令に準拠して処理されているか、予算執行が適正であるかどうかについて、関係諸帳簿等の照合を行うとともに、必要に応じて関係職員の説明を求める方法により審査した結果、いずれも正確で適正に処理されているものと認めた。



意見書

若者も高齢者も安心できる年金制度への改革求める意見書（賛成者・全員）

総務産業建設常任委員長 上池如夫
国において、若者も高齢者も安心年金制度の改革を図るため年金の隔月支給を国際水準並みに毎月支給に改めること、年金支給開始年齢をこれ以上引き上げないことを求める。

地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書（賛成者・全員）

総務産業建設常任委員長 上池如夫
政府はワーキング・プアをなくすため、政府決断で最低賃金をすぐに1,000円以上引き上げること、全国一律最低賃金制度の確立など地域間格差を縮小させるための施策を進める、中小企業への支援策を拡充すること、雇用の創出と安定に資する政策を実施することなどを求める。